

作成日 2017年 1月22日
改訂日 2023年 2月28日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	MORA-EXTRACT ライシスバッファー	
会社情報	会社名	イーエムアール株式会社
	住所	岐阜県岐阜市大学北2丁目210番地1
	担当部門	研究開発部
	電話番号	058-293-0610
	FAX番号	058-234-2487

2. 危険有害性の要約

(本品に含有する2-メルカプトエタノールについて記載する)	
最重要危険有害性 有害性	引火性液体、急性毒性物質 眼、鼻、のど、皮膚を刺激し薬傷を生じる。 吸入したり、飲み込んだ場合、胸痛、息切れがあり、意識を失うことがある。 重症の場合は肺水腫を起こす恐れがある。 症状が現れるのが遅れることもある。 皮膚を経由しても体内に吸収される。
環境影響	微生物などによる分解性が良好と判断される化学物質である。
物理学的及び化学的危険性	引火しやすい液体。蒸気は空気と爆発性混合気体を生じ、引火爆発の危険がある。火災の熱で容器が爆発する事がある。揮発性物質で屋内、屋外で火災爆発の危険性がある。 加熱すると分解し、有毒なガス(硫黄酸化物)を生じる。酸化剤、金属と反応する。
GHS分類	分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	2-メルカプトエタノール
成分及び含有量	0.72%
化学特性	HSCH ₂ CH ₂ OH
官報公示整理番号	2-458
CAS No.	60-24-2
危険有害成分	2-メルカプトエタノール

(混合物については検討データがないため、以下2-メルカプトエタノールについて記載する)

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させ安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。必要に応じて、人口呼吸や酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合	多量の水で石鹸を用いて洗う。症状が出た時は、医師の診断を受ける。障害が遅れて現れることがあるので、必要に応じて医師の診察を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。 直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。直ちに医師の手当を受ける。 吐き出したのち、茶さじ2杯程度の活性炭を水に溶いて与えてもよい。

5. 火災時の措置

消化剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
火災時の特定危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム又はガスが発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特定の消化方法	火元の燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。 消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう、適切な処置をする。
消火を行う者の保護	移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。 火災場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 状況に応じて、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	処理が終わるまで十分に換気をする。漏出場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等の皮膚への付着、粉塵・ガスの吸入がないよう注意する。風上から作業して、風下の人を退避させる。 漏出した液が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないよう注意する。 特異な不快臭があるので、周辺の住民に漏洩が生じたことを通報する等、適切な処置を行う。
除去方法	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。可能な限り回収した後、大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	火気厳禁 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。目および皮膚への接触を避ける。 取扱い場所の床面は原則としてコンクリート等の地下への浸透が防止出来る材質とする。
	注意事項	使用後は容器を密閉する。 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気が発生させない。 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
保管	安全取扱注意事項	吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。 本製品の添付文書記載内容に従い、感染に注意して操作する。
	技術的対策	火気厳禁 強酸化性物質、火源の近くに保管しない。 保管の場所の床面は原則としてコンクリート等の地下への浸透が防止出来る材質とする。
	適切な保管条件	容器を密栓した後、遮光して冷蔵保管する。 その他、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法、消防法などの法令に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置、取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備を設置する。
許容濃度	設定されていない。
保護具	有機ガス用マスク、保護メガネ、ゴム製手袋、保護衣、帽子等

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	無色
臭い	特異な不快臭
pH	データなし
沸点	157°C
融点	-100°C
引火点	74°C(O.C.)
発火温度	295°C
爆発限界	2.3~18 vol%
蒸気圧	0.13 kPa(20°C)
蒸気密度	2.7(空気=1)
比重	1.1
溶解性	水、アルコール、エーテルに可溶
オクタノール/ 水分配係数	-0.3(概算値)
log Pow	

10. 安定性及び反応性

安定性	光、空気により変質する。
反応性	データなし
避けるべき条件	日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源、空気
危険有害な分解性生物	一酸化炭素、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口-マウス LD50:190mg/kg 吸入-マウス LC50:13200mg/m3 経口-ラット LD50:244mg/kg 吸入-ラット LCLo:250ppm/8H 皮膚-ウサギ LD50:150mg/kg
皮膚腐食性	データなし
刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	眼刺激(ウサギ) 2mg 重度
発ガン性	データなし
変異原性	データなし
催奇形性	データなし
生殖毒性	データなし

12. 環境影響情報

移動性	データなし
残留性/分解性	微生物などによる分解性が良好と判断される化学物質である
生体蓄積性	データなし
生態毒性	データなし

13. 廃棄上の注意

燃焼法。可燃性溶剤と共に、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却処理を行う。または、許可を得た廃棄物処理業者に処理を委託する。毒物及び劇物取締法などの法令に従う。

14. 輸送上の注意

国際規制

2-メルカプトエタノール 国連分類:クラス6.1, 容器等級:P.G.2, 国連番号:2966, 品名:Thioglycol

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載による。
輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認し、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
直射日光を避ける。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	劇物
労働安全衛生法	非該当
化学物質管理促進法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

16. その他

- 引用文献等
- 1) 化学物質総合情報提供システム 製品評価技術基盤機構
 - 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 化学工業日報社
 - 3) 化学物質情報 安全衛生情報センター
 - 4) 製品安全データシート 和光純薬工業株式会社

この製品安全データシートは、基本的な取扱いについて記述したもので、製品の規格や安全保証を意図して作られたものではありません。

また、危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報、データ等で作成しておりますが、全ての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。